



平成28年7月29日

各 位

上場会社名 ホシザキ株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 坂本 精志
 (コード番号 6465)
 問合せ先責任者 常務取締役 本郷 正己
 (TEL 0562-96-1320)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年2月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	137,500	19,130	19,400	12,220	168.75
今回修正予想(B)	137,400	20,850	15,340	9,500	131.19
増減額(B-A)	△100	1,720	△4,060	△2,720	
増減率(%)	△0.1	9.0	△20.9	△22.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	130,962	17,893	19,072	11,377	157.22

平成28年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	271,500	34,200	34,800	21,900	302.43
今回修正予想(B)	265,000	34,200	28,600	17,800	245.81
増減額(B-A)	△6,500	0	△6,200	△4,100	
増減率(%)	△2.4	0.0	△17.8	△18.7	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	260,174	31,719	30,864	16,971	234.47

修正の理由

(1) 第2四半期(累計)業績予想数値の修正

当第2四半期連結累計期間は、国内において急激な円高が進行したものの、大胆な金融緩和の追い風もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

海外においては、米国の景気好調が継続するものの、欧州及び新興国は一部の国を除いて景気に勢いを欠く状況でした。

このような環境の中、当社グループは、国内、海外共に主力製品の販売が好調に推移したことに加え、原価低減並びに、業務効率化や生産性向上に継続的に努めたことにより、国内及び海外(現地通貨ベース)での業績は、前年及び業績予想を上回る形で推移いたしました。

一方、期首計画(1米ドル=118円)に対して、当社の主要取引通貨である米ドルをはじめ、各通貨が大幅に円高へ進んだことにより(平成28年6月期中平均:1米ドル=111.7円)、現地通貨から円への換算に際してはマイナスの影響が発生しております。

さらに、急激な円高により(平成27年12月末:1米ドル=120.6円に対して平成28年6月末:1米ドル=102.9円)、営業外費用として、保有外貨などの円換算評価に係る為替差損を約59.6億円計上する見込みです(前期第2四半期累計期間の為替差益計上額約9億円)。

これに伴い、第2四半期累計期間の連結業績予想を変更いたします。

連結売上高は、前期連結業績実績(平成27年12月期第2四半期累計期間)を上回り、ほぼ業績予想の水準実績となる見込みではございますが、円高に伴う円換算評価を勘案し、137,400百万円に修正いたします。営業利益におきましては、原価低減ならびに販売費及び一般管理費の削減を徹底いたしました結果、20,850百万円に修正いたします。

また、営業利益以下に関しましては、上記為替差損の計上を見込み、経常利益におきましては15,340百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益も9,500百万円に修正の見込みとなります。

(2) 通期連結業績予想数値の修正

第2四半期(累計)の業績予想数値の修正を受けて、第3四半期以降も世界経済の不透明さは一段と増すことを懸念しています。国内景気は、円高の継続及び景気の弱含みが懸念され、フードサービス産業における設備投資の継続性は不透明です。海外も、英国のEU離脱等、政治リスクの高まりと共に世界経済の不透明性が増しており、今後のフードサービス産業の景気、設備投資動向は予断を許さない状況です。また、第2四半期までの急速な円高を考慮して、業績予想の前提となる主な通貨の為替レートを変更します(1米ドル=118円から108円へ変更、1ユーロ=128円から120円へ変更)。

想定為替レートの変更に伴い、現地通貨レートから円へのマイナスの換算差及び高まる世界経済の不透明さを考慮し、通期の連結業績予想を修正します。

連結売上高は上記為替レートの変更に伴い、265,000百万円に修正いたします。営業利益は前回発表の業績予想より変更はございませんが、当営業外の為替差損益として、第2四半期累計期間で発生を見込む為替差損約59.6億円のみ計上しております(前年通期の営業外における為替差損計上額約15億円)。

(注記)

前述の業績見通し等に記載されている各数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断する一定の前提及び仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実績等が見通しの数値と異なることが有り得ますことをご承知おき下さい。

以上